

製品名: リン酸化 YAP1 (Ser127) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe87275

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:55 kDa; Observed MW:70-75 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-YAP1 (Ser127)
別名	YAP; YKI; COB1; YAP2; YAP65
遺伝子ID	10413
SwissProt ID	P46937
免疫原	ヒト YAP1 の Ser127 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

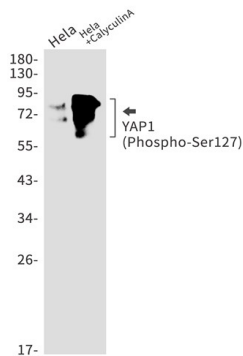
この遺伝子は、発生、成長、修復、そして恒常性維持に関与する Hippo シグナル伝達経路の下流核内エフェクターをコードしています

す。この遺伝子は、このシグナル伝達経路の転写調節因子として、複数の癌の発生と進行に関与することが知られており、癌治療の潜在的な標的となる可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013年8月]

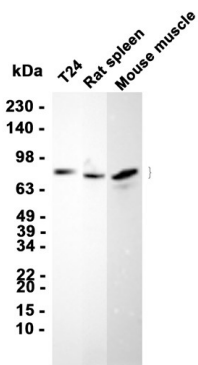
研究分野

-

画像データ



Phospho-YAP1 (Ser127) 抗体を使用した HeLa、HeLa+CalyculinA における Phospho-YAP1 (Ser127) のウェスタンプロット検出。



AMRe87275 を 1:6000 で使用して、T24 細胞およびラットの脾臓、マウスの筋肉組織からの抽出物のウェスタンプロット分析を行いました。